

超遠心機アプリケーションセミナーのご案内

～エクソソーム精製のゴールドスタンダード 超遠心法のメリットと実験のコツ～

リサーチコアセンター長

木村 彰方

エクソソームの中には核酸（miRNA や mRNA）やタンパク質などが入っており、細胞間コミュニケーションの担い手として、また各種疾患の診断・治療ツールとして注目されています。がんなどの疾患時に分泌されるエクソソームの役割を解析することで、創薬の開発につながることも期待されます。

エクソソーム精製において、超遠心法はゴールドスタンダードとされている方法です。本セミナーでは、ベックマン・コールター社より講師をお迎えし、密度勾配遠心法、エクソソーム精製における超遠心法を選択するメリットとその具体的なプロトコールについて講義および操作説明していただきます。

* リサーチコアセンターでは、ベックマン・コールター製フロア型および卓上型超遠心機を設置していません。

記

概要：

13:00～13:10 挨拶 マーケティングアプリケーションスペシャリスト

13:10～13:30 超遠心機の操作説明・遠心開始

13:30～14:50 エクソソームの分離精製について講義

14:50～15:00 上清の廃棄、エクソソーム沈殿の懸濁の操作説明

15:10～16:30 超遠心（休憩）

16:30～16:50 上清の廃棄、エクソソーム沈殿の懸濁の操作説明

日時： 9月11日（火） 13:00～17:00

場所： 8号館南 4階超遠心機室（集合場所）および 2階大セミナー室（講義）

費用： 無料

申込〆切： 9月3日（月）

セミナー参加をご希望される方は、下記問い合わせ先までメールにてお申し込みください。

問い合わせ先： リサーチコアセンター 船戸紀子 E-mail: nfunato.gene@cmn.tmd.ac.jp